


## 就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	特定非営利活動法人HOPE	事業所番号	1310601057
住 所	台東区三筋 1 - 4 - 1 6	管理者名	佐藤 翼
電話番号	0 3 - 5 8 2 5 - 6 2 6 1	対象年度	令和 6 年度

## 地域連携活動の概要

<p>&lt;活動内容&gt;</p> <p>活動場所： ケア・プランニング株式会社</p> <p>実施日程： 毎週 5 日</p> <p>実施した生産活動・施設外就労の概要</p> <p>荒川区の介護施設で施設利用者向けの昼食配膳 及び区内の在宅高齢者向けの弁当の盛り付け</p> <p>利用者数： 現在 1 名</p>	<p>&lt;活動の様子・成果物の写真&gt;</p> 
<p>&lt;目的&gt;</p> <p>障害者就労の認知度をあげ、障害者の雇用機会の拡大を図る。介護施設においては慢性的な人手不足の解消の担い手になりうる。働き手においては、一つの仕事を全体の動きを見ながら完成させる力を養い、就労に向けて、より実践的な作業訓練を行う。</p>	<p>&lt;活動内容の追加コメント&gt;</p> <p>仕事の一連の工程を把握し、作業を進めていく事で 1 つのタスクを完成させる力がついている。</p> <p>今年度は 1 0 月まで 2 名で行っていた作業が、1 1 月からは 1 人で行うことになり、より効率的な作業の進め方が求められるようになった。従来の作業フォーマットを 1 人体制に見直しを行った。用意する食数が以前より減少しているところから、現在は対応可能となっている。</p>
<p>&lt;成果&gt;</p> <p>一人一人の障害の特性を考慮した作業に従事する事で与えられた仕事を達成できている。 障害がありながらも企業側がその特性を理解し、それに見合った仕事を提供することで社会に居場所を持つことが出来た。</p> <p>課題： 医療などの関連機関との連携の下に体調を安定させ、就労の安定化を図る。</p>	

## 連携先の企業等の意見または評価

<p>&lt;連携した結果に対する意見または評価&gt;</p> <p>障害を抱えながらもそれに甘んじることなく、真摯に作業に取り組む姿には感銘を覚えます。また今年度は、年度途中でお 1 人が退所され、1 1 月からは残る 1 名での作業体制となったのですが、このような体制の変化にも臆することなく、確実に作業をこなすことができおり、この数年のご本人の成長を感じます。</p> <p>&lt;今後の連携強化に向けた課題&gt;</p> <p>今回のような作業体制の見直しという事態がおきても、HOPEさんとの連携で通常通りの作業を行うことができました。今後とも、同行するHOPE職員さんと協力しながら、利用者さんに寄り添った合理的配慮の下に本人の持っている力を発揮できる職場をめざしていきます。</p>			
連携先企業名	ケア・プランニング株式会社	担当者名	金沢 雄二